

委託訓練カリキュラム

訓練実施者 NPO法人 アサヒナ アソシエーション

訓練科名	スポーツ・介護ビジネス科	想定する	・医療機関（病院、老健施設での介護職） ・介護予防総合事業（通所・訪問等での介護職） ・社会福祉事業（障がい者支援、放課後デイサービスでの指導職員） ・地域スポーツクラブ（運営/営業事務職）
訓練期間	令和4年7月26日（火）～ 令和5年1月25日（水） （6か月）	就職先の職務	
訓練目標	<ol style="list-style-type: none"> ① スポーツクラブ等において年齢競技レベルに応じた指導者として活躍できる基礎知識の理解から実践的な技術習得 ② 事業計画の立案など、クラブ内指導者の中心的な役割を担え、経営運営も出来る人材の育成 ③ 障がい者や高齢者のレクリエーションやニーズに応じた幅広い運動種目や指導方法の習得 ④ 介護専門職員として基礎知識と基礎技術から実践的な技術習得 ⑤ スポーツクラブ、NPO等の経営や運営、育成コーチング指導もできる人材の育成 ⑥ 地域社会のリーダー育成（地域コミュニティ、被災地支援など） <p>【目標資格取得】訓練時間にて、無料で資格取得できます</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 介護職員初任者研修課程 ② 普通救命講習 <p>【自己研究において取得可能な資格の紹介】</p> <p>（注意）訓練時間外に個人での資格取得になります</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初級障がい者スポーツ指導員（毎年11月下旬 鹿児島県内） 2. SMCスポーツマネージャーズサテライト講座（九州各地 不定期） 3. 介護事務士（通信教育） 	<p>コース番号*</p> <p>吹上-9</p>	
仕上がり像	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域のスポーツ現場等で育成年代を指導できるリーダー的な人材 ② 介護職員として基礎的な介護業務ができ、実践的にも現場で活躍できる人材 ③ 高齢者の運動器機能向上指導員 ④ 介護予防施設等で介護事務的役割や、業務全体を把握でき、運営を担える人材 ⑤ 様々な就業現場で基本的な経営運営を理解でき、人材育成コーチングもできる即戦力人材 ⑥ 社会貢献活動を通し、子どもたちや地域住民を笑顔にでき地域と企業を繋ぐコーディネートのできる、地域のリーダー格となれる人材 		

科目	内容	時間
オリエンテーション	入校式、修了式	
ヨガ基礎	<ul style="list-style-type: none"> ● ヨガの目的と効果、ヨガの概念 	2.8
フィットネス基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> ● フィットネスの目的、フィットネス基礎 ● 男女別トレーニングの実際 	2.2
栄養基礎	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ栄養の概念、栄養の意義とアスリートの食事、エネルギー代謝（基礎代謝と活動代謝） ● 栄養の意義と高齢者の食事 ● ジュニアアスリートの栄養 	4
安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染症の一般知識、衛生法規、安全衛生、生活習慣病予防 	2
発育発達	<ul style="list-style-type: none"> ● 発育期・中高年期の特性（健康の概念・加齢現象）人間の発育と発達に関する基礎知識 ● 女子スポーツ選手の特長 	6
トレーニング実践基礎	<ul style="list-style-type: none"> ● フィジカルトレーニング知識 ● 股関節ストレッチ、体幹トレーニング、ウォーミングアップ・クーリングダウン ● 各種トレーニングの基本的な考え方と実践計画・方法 	2.8
スポーツ経営・運営	<ul style="list-style-type: none"> ● 組織経営理念とビジョン立案、環境分析、行動計画、コミュニケーションデザイン ● 事務経理基礎、運営手法、プレゼンテーション手法、外国人の雇用 ● 組織設立の手順、個人事業主開業、トレーニングスタジオ運営、プロ球団経営・運営手法 	6
コーチング法	<ul style="list-style-type: none"> ● 働きかけの考え方とコーチングの方法 ● 指導者の資質、指導者の役割と大人のかかわり方、スポーツ指導の意義 ● スポーツ指導の種類（健康・生涯・競技力向上）指導実践案理論とその具体化の条件 ● テクニック指導の考え方、コーチングとティーチング、個人戦術とチーム戦術 ● スポーツプレーの原理原則、年齢・性別・体格など目的別にあわせたトレーニングプログラムの構築と、立案スポーツ運動の心理面への影響 	16
地域社会概論	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会体育の基本的な考え方、地域スポーツ概論、地域スポーツ概論、イベント企画から実際 	64
職務の理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解 	8
介護における尊厳の保持・自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護 	1.2

介護の基本	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護職の役割、専門性と多種目との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全 	8
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護保険制度医療との連携とリハビリテーション、障がい者自立支援制度およびその他制度 	1.2
介護におけるコミュニケーション技術	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション 	8
老化の理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 老化に伴うことからの変化と日常、高齢者と健康 	8
認知症の理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うことからの変化と日常生活、家族への支援 	1.0
障がいの理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 障がいの基礎的理解、生涯の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識、家族の心理、かかわり支援の理解 	6
ことごとからだのしくみと生活支援技術 I	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護の基本的な考え方、介護に関することごとからだのしくみの基礎的理解、介護に関することごとからだのしくみと自立に向けた介護、移動・移乗に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護、食事に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護、入浴、清潔保持に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護、排せつに関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護、睡眠に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護、死にゆく人に関連したことごとからだのしくみと終末介護 	4.4
振り返り①	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習到達度の振り返り 	4
就職支援	<ul style="list-style-type: none"> ● ジョブカード作成方法、履歴書職務経歴書の書き方、面接対策 ● ホスロジマナートレーニング、講義計画と指導実践、アジア諸国の就職意識理解からの変化、かごしまジョブ・トライアル推進事業、キャリアコンサルティング、資格取得対策 	4.8
ヨガ実践	<ul style="list-style-type: none"> ● ヨガの呼吸法、目的・症状別ヨガ、シニアヨガ、利用者に対する指導演習 	3.0
高齢者転倒予防トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーリハビリテーション基礎、高齢者ウォーミングアップクーリングダウン基礎 ● ロコモ予防体操、バランスボールやストレッチポールを使用したトレーニング ● 椅子を使用した体操・トレーニング、利用者に対する指導演習 	4.2
高齢者機能訓練指導法	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者のトレーニングプログラムの構築と立案 ● ペーパーアイテム、アセスメント実施方法、運動指導実践の実際、指導案の作成 	5.6
接遇演習	<ul style="list-style-type: none"> ● 第一印象（Smile・身だしなみ・挨拶・姿勢・お辞儀）、接客・接遇のマナー（Smart・立ち振る舞い・物の授受）、接遇の場でのコミュニケーションの取り方（Sincerity・言葉遣い・好感を与える表現・音声表現・話し方・聴き方）、CSの表現方法（Customer Satisfaction・心遣い・目配り・配慮・マジックフレーズ） ● お客様への意識（良い接遇応対と悪い接遇応対とは） ● 介護医療現場におけるホスピタリティとは 	1.2
レクリエーションと地域社会論	<ul style="list-style-type: none"> ● レクリエーション技術、利用者に対する指導演習 	2.0
コンディショニング基礎動作	<ul style="list-style-type: none"> ● 怪我・疾病予防慢性痛の改善、健康状態改善、コアトレーニング法、腰痛予防 	4.2
トレーニング実践基礎	<ul style="list-style-type: none"> ● フィジカルトレーニング知識、股関節ストレッチ各種トレーニングの基本的な考え方と実践計画と方法、ウォーミングアップ、クーリングダウン、体幹トレーニング 	3.0
救急処置	<ul style="list-style-type: none"> ● 応急手当、救急手当、止血、三角巾、心肺蘇生法、緊急時ロープワーク法 ● 普通救命講習、事例演習 	6
ことごとからだのしくみと生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活と家事、快適な住環境整備と介護、整容・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護、死にゆく人に関連したことごとからだのしくみと終末介護、介護課程の基礎的理解、総合生活支援技術演習 	4.6
振り返り②	<ul style="list-style-type: none"> ● 就業への備えと研修終了後における継続的な研修 	4
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際の医療施設、介護施設現場での就業実習・見学 	1.2
総訓練時間 6.44時間（学科 3.44時間、実技 3.00時間）		



○訓練場所
NPO法人 アサヒナアソシエーション
 鹿児島市上之園町24番地10 TEL: (099) 258-4903

（アクセス）鹿児島中央駅より徒歩7分
 市営バス 上之園町バス停 徒歩2分
 近隣コインパーキング多数あり（6.0分 1.0.0円）